



現場レポート

ソウル事務所

「日韓交流おまつり 2024 in Seoul」で日本の地域の魅力を発信！

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 佐岡 政樹 (愛媛県派遣)

2005年、日韓国交正常化40周年の「日韓友情年」を機に始まった「日韓交流おまつり」は、今年で20回目を迎えました。日韓最大の草の根交流イベントとして、日韓両国のさらなる友好関係の促進を目的に、今年も多くの団体が参加しました。ステージ公演だけでなく、地域の観光情報や特産品をPRするブースや両国の文化を体験できるブースなどが出展し、会場をおおいに盛り上げました。

日韓最大の草の根交流イベント

今年の日韓交流おまつりは、「おまつりで咲く友情の花」をテーマに、9月22日にソウル特別市江南区で開催されました。会場は、日本に関心を持つ若者をはじめ、多くの来場者でにぎわいました。

午前11時。オープニング公演では、韓国最大の国際音楽団体である「カマラタ」と、毎年日韓交流おまつりに出演している「SJC ハーモニー女性合唱団」が共演し、美しい歌声に包まれながらプログラムが始まりました。その後、公式行事として、来賓紹介や開会宣言、祝辞が行われました。

午後からは、カウンター・テナー歌手の米良美一氏による公演のほか、日韓の伝統舞踊やヒップホップ、韓国の人気番組「日韓歌王戦」の日本代表による公演が続き、スペシャル公演では、謎のおかっぱ集団「アバンギャルディ」によるパフォーマンスが行われるなど、日韓両国の多くの団体がステージを彩りました。

ブースエリアでは企業や地方自治体のブースだけでなく、着物や韓服の試着、日韓両国の伝統的な遊びなどを体験できるブースが出展し、来場者は着物や浴衣、韓服を着ての写真撮影を楽しんでいました。

日本の自治体からは静岡県、滋賀県、鳥取県、山口県、愛媛県、松山市、長崎県、大分県が来韓してブースを出

展しました。現地事務所などを含めると計17の機関が、民芸品の製作体験や日本酒の試飲、郷土料理で作った弁当の販売など、工夫を凝らした多種多様なイベントを実施して日本各地のPRを繰り広げました。

クレアソウル事務所も自治体をPR

クレアソウル事務所もブースを出展して、パンフレットの配布やポスターの掲示、自治体から提供されたPR映像を使った広報のほか、当事務所のInstagramアカウントである「トランドラン (도란도란)」をフォローすると日本の特産品が当たる抽選イベントを行い、自治体のPRを展開しました。



クレアブースの様子

また、よりコアな情報を発信できるよう、クイズイベントも行いました。ブースを出展している自治体を中心に、特産品や観光地に関する事柄を織り交ぜた問題に正解するとプレゼントが貰えるイベントです。家族で参加する人も多く、日本に詳しい親が子供たちに日本の都道府県について説明している様子など、微笑ましい場面も数多く見られました。来場者との交流にもつながり、日本の自治体について関心を持つ良いきっかけづくりとなりました。



抽選イベントでの当選者

JET がつなぐ日韓の地域間交流

日本の自治体や学校などにおいて外国語指導や国際交流業務で活躍する海外の青年を招致する「JET プログラム」には、韓国からも多くの参加者があります。

今回のおまつりでは、JET 経験者で構成される「JETAA（元 JET 参加者の会）韓国支部」がブースを出展し、活動中の写真が掲載されたパネルを展示し、自身の日本での業務や日常生活に関する体験談を語るなど、来場者に JET プログラムや日本の魅力を発信しました。

ブースを訪れた人からは、JET プログラムの業務内容や選考に向けた対策の仕方、日本での生活のコツなどに関する質問が多数寄せられ、真剣な表情で説明に耳を傾けている様子が見られました。



体験談に基づき説明をする JET 経験者

おまつりで咲く友情の花

閉幕前には、日韓コスプレ公演として、著名なコスプレイヤーによる舞台公演のほか、J-POP からは「IVVY（アイビー）」が、K-POP からは「ILLIT（アイリット）」が出演し、会場を大いに盛り上げました。

午後6時30分。ステージへの出演陣のみならず、一般の来場者をも巻き込んだよさこいパフォーマンスが圧巻のフィナーレを飾り、今回の日韓交流おまつりは幕を下ろしました。国境を越えて、皆が笑顔で踊ったフィナーレは、本イベントのテーマでもある「おまつりで咲く友情の花」に相応しいものでした。

大盛況のうちに閉幕した日韓交流おまつりについて、日本の自治体担当者からは、「日本に関心のある若者が多かった」という声や、「観光だけでなく、物産に関しても知ってもらいたい良い機会となった」「日本との交流に対する期待感の高まりを感じた」といった声が寄せられました。

日韓の地域間交流がこれからも深く根付いていくためには、この日韓交流おまつりに留まらず、息の長い交流を継続していくことが必要です。クレアソウル事務所では、今後もさまざまな事業を通して日本の自治体の魅力発信と日韓の地域間交流をサポートする取り組みを推進してまいります。

取り組みの一環として、日本の自治体の日韓交流おまつりへブースを出展する場合には、出展料の半額支援も実施しています。日本の自治体の皆さま、来年は是非、日韓交流おまつりにブースを出展し、我々と一緒に現地で PR をしてみませんか？



フィナーレの様子

「日韓交流おまつり in Seoul」の詳細はこちらから
(クレアソウル事務所ホームページ)

<http://www.clair.or.kr/appeal/omatsuri/omatsuri.asp>